

阿久比町のオアシス 文化の泉

2月号から始まった“阿久比町のオアシス 文化の泉”。
絵画や彫刻、生け花など、町民の皆さんの力作を紹介しま
す。掲載作品は庁舎などで展示も行います。次号に掲載する
作品を募集しています。阿久比町在住の方であればどなたで
も応募できます。どしどしご応募ください。

■応募方法 掲載してほしい作品などを中央公民館窓口まで
お持ちください。(選考は社会教育課が行います。)

■応募・問い合わせ先 社会教育課公民館係
☎(48)1111 (内1501)

日本画



「白駒池のほとり」野村桂子さん



「雨上り」小林よし子さん

展示期間 5月16日～30日
庁舎1階ロビーにて展示します。

創作童話

「うつくしい島」

木村久世さん

しんくんは、きれいな白い砂浜
にいました。海水パンツをはいて、
水中メガネを持っていました。

海の上でお日さまがにこにこわ
らっています。砂浜から少しはな
れたところに、やしの木がたくさ
んありました。

海は、どこまでもすきとおって
います。あさせでは魚が泳いでい
るのが見えました。

「わあ、さかなだー」

しんくんは、大好きな魚をむ
ちゅうでおいかけました。

「ああ、のどがかわいたな」

しんくんは、流れるあせをぬぐ
いました。

だれかがやしの木の上から、し
んくんを見していました。そして木
から下り、しんくんに近いまでき
きました。日やけて小麦色の肌を
した少年でした。もいだやしの実

を持っていました。

「ハロー。ぼくの名前はトイ」

トイくんは、やしの実を一つし
んくんにわたしました。

「ありがとう。ぼくの名前はしん」

しんくんはやしの実をゴクン、
ゴクンとのむとたずねました。

「ここはどんな島なの」

「ここは、世界で一番うつくしい
島なんだ」

「うつくしい島？」

「お互いを大切にしているから、あ
らそいがいいんだ」

「ふうーん」

しんくんは、海を見わたしまし
た。するとイルカが、ピヨーンと
はねました。

「トイくん、ぼくに泳ぎを教えて
よ。今より上手に泳げるようにな
りたいんだ」

トイくんの教え方は、とても上
手でめきめき上達しました。

「すぐ泳げるようになったか
ら、イルカと競争しようかな」

しんくんは、じょうだんを言
いました。

「できるよ。ついておいで」

しんくんはトイくんにつれられ
て、海から岩が顔を出している
ところまで泳いで行きました。そし
て、トイくんは、しんくんを岩の
上におし上げました。

「ここならイルカが来るよ」

しんくんは、しずかな海にとび
こみました。

コポ コポ コポ

しんくんのこぼしたいきが海水
にとけていきます。

(きれいだな)

しんくんは、青い海を黄色や青
や赤い色の魚たちと泳ぎました。

ピーツ

トイくんが口笛を吹くと、何か
黒いものが泳いで来ました。

「わあ、イルカだ！」

しんくんは、イルカといっしょ
に泳ぎました。

「波が出てきたから、もどるよー」

トイくんは、大きな声でさけび
ました。

「まだもどりたくないー」

波が高くなってきました。しん
くんはいつのまにか、イルカを見
うしなっていました。しんくんは、
流されているのにと気がつき
ました。

「たいへんだ。もどらなきゃ」

しんくんは、ひついで泳ぎまし
たが、波にもどされて少しも進み
ません。

「しんくんー」

トイくんの声が、とおくから聞
こえてきます。しんくんは、うで
がちぎれそうなほどむちゅうで泳
ぎました。しかし岸がようやく近
づいたと思ったら、大きな波がき
て、しんくんはのみこまれてしま
いました。

気がつくとしんくんは、浜辺に
いました。しんくんは、トイくん
をさがしましたが、トイくんはど
こにもいませんでした。

「ここは、お互いを大切にしてい
るから、あらそいのない島なん
だー」

さがしに来たお母さんに手をひ
かれた時、しんくんの心にトイ
くんの言葉がひびきました。

